

第1弾 収録カード一覧

新スナッカー 全

車両カード【特記】1969～2021

解説 近鉄特急史上最多となる168両が製造され、汎用特急として大活躍した。2021年2月に定期運用を終了したが、一部の車両は「名車よしもと」などに改造され、今もなお活躍を続けています。

スキル **名版ノストップ**
このカードを手札から「大版」または「名古屋」エリアに出したときに発動できる。カウントスとして表なら、進行度を1とする。
思い返せば歴史大。

001/011

No.001
新スナッカー

優秀な設定エリアを持つ。スキルは運要素があるものの、成功すれば一気に逆転のチャンス。

ひのとり 大 名

車両カード【特記】2020～

解説 「くつろぎのアップグレード」をコンセプトとしており、全席にバックシェルを設けするなど、車内の居住性を大幅に向上させている。名版特急だが、伊勢志摩方面に臨時運用されることもある。

スキル **新型名版特急**
このカードを裏に出したとき、相手の「大版」または「名古屋」エリアにあるカード1枚を、相手の車庫エリアに置く。
もともと名古屋、名古屋に特化します。

002/011

No.002
ひのとり

相手の構想を崩すスキルが強力。進行度の高い車両に対して使おう。

しまかぜ 大 名

車両カード【特記】2013～

解説 志摩に吹く風の高やかさをイメージして命名された。先頭車両の6枚のガラスを用いた多面体のフロントデザインは、シャープさと躍動感を表現している。

スキル **プレミアムシート**
このカードは進行度3の状態でも裏に出すことができる。
乗ること自体が楽しみのなら

003/011

No.003
しまかぜ

シンプルかつ強力なスキルで、相手にプレッシャーを与えることができる。“ひのとり”のスキル対象にならないのも良い。

さくらライナー 大 名

車両カード【特記】1990～

解説 吉野のさくらの花びらをイメージしたシート形状が特徴。2011年にもさくら色から色を継嗣したカラーへとリニューアルされた。

スキル **一目千本**
手札にある他の「さくらライナー」1枚を車庫エリアに置くことで発動できる。このカードを「名古屋」エリアに出したとき、カウントスを2回し1回以上表がければ、進行度を1とする。
吉野山は桜の道啊。「一目で千本見える御寺」から「一目千本」とつけ、桜が舞の下千本から「上」を見て千本へと数々上がる。

007/011

No.007
さくらライナー

強力なスキルを発動できれば、ゲームの流れを変えることができるかも。

22600系 Ace 大 名

車両カード【特記】2009～

解説 特急ネットワークを支える汎用特急車両。既存の22000系等と自在に連結でき、旅客需要に応じて編成長を組み替えることができる。

スキル **汎用特急**
このカードが手札にあるとき、手札の他のカード1枚を車庫エリアに置くことで発動できる。このカードは全エリアに出すことができるようになる。
電報は、Ace（エース）。

006/011

No.008
22600系 Ace

一見、スキルの発動条件がデメリットに思えるが、“出庫”と組み合わせれば一転攻勢が可能。

回送

アシストカード

解説 自分が持っている相手側の車両カード1枚を持ち、相手の車庫に送り出す。

009/011

No.009
回送

高い汎用性を持つ。現状“しまかぜ”を抑えることのできる唯一のカード。

青の交響曲 大 名

車両カード【特記】2016～

解説 歴史・文化・自然や食などをさまざまな観光資源にあふれた沿線の魅力と認知し、響き合いながら走る「青色の列車」。元は一般車である6000系。

スキル **ラウンジスペース**
このカードを裏に出したときに発動できる。自分の山札からカードを1枚表を1回。
心に強く残るよう。

004/011

No.004
青の交響曲

現在唯一のドロースーツであるカード。序盤に引けると、ゲームを優位に進めることができる。

伊勢志摩ライナー 大 名

車両カード【特記】1994～

解説 当初は黄色の1種だけだったが、2012年のリニューアルで2色となった。赤色と黄色のカラーリングは、伊勢志摩の太陽と照射しを表現している。

スキル **リゾート特急**
このカードを手札から「三重」エリアに出したときに発動できる。自分の車庫エリアからカード1枚を裏に手札に加える。
色の名称は「Mシンライン（エコー）」と「Mシンライン（エコー）」

005/011

No.005
伊勢志摩ライナー

使い終わったカードを回収できる。スキル発生条件が限られるため、使いつつどこかやや難しい。

アーバンライナー・ネクスト 大 名

車両カード【特記】2003～

解説 1988年に運行を開始したアーバンライナーの進化型。先頭車両は、遅くともここからさかきのあるデザインとなっている。

スキル **ゆりかご式シート**
このカードを手札から「三重」エリアに出したとき、自分の車庫にある他の車両カード1枚を選び、進行度を1進める。
都市と都市をつなぐ

006/011

No.006
アーバンライナー・ネクスト

進行度を進めるスキルで、相手の不意を突くことができる。ここぞという場面で使おう。

出庫

アシストカード

解説 自分が持っている相手側の車両カードを1枚表、裏は進行度3の状態でも裏に出すことができる。

010/011

No.010
出庫

車庫に送られてしまった車両カードを場に出すことができる。“しまかぜ”を対象にしても、進行度は1なので注意。

乗り換え

アシストカード

解説 自分が持っている相手側の車両カード1枚を車庫に送り、その他の名版の車両カード1枚を進行度1の状態に、そのカードの設定されたエリアに出す。

011/011

No.011
乗り換え

場の状況を大きく変えることが可能。“新スナッカー”のような運要素のあるスキルを使い直すこともできる。

**きんてつ
トレインズ!**

第2弾 収録カード一覧

あをによし 大 奈 京



車両カード【110系】2022～

車両紹介 大阪・奈良・京都を直通で結ぶ観光特急。内外装には、正倉院の宝物をモチーフとした天文文様があふれ、備った細部から伊勢を感じられるデザイン。車体色は天平時代に高度な工芸技術で染められた和紙色。山は河内国特産として活躍した12000系と似ている。

スキル **三都めぐり**
1ターンの1度発動できる。自分の場にあるこのカードの配置を変更する。(このカードの固定エリアに属する)

あをによし ならぬやには さくらんぼの にほひかこく ぐらでかほりなり

012/022

No.012

あをによし

盤面に応じてエリアを移動することができる。序盤に場に出し、進行度を進めながら、使いたいエリアを空けられる動きが理想か。

アーバンライナー・プラス 大 全



車両カード【特急】1988～

車両紹介 名阪ノストップ特急専用のシンボルカーとして誕生した。従来の特急車両のイメージを覆す、流線形でシブいデザインが特徴。2003年に「アーバンライナープラス」としてリニューアルした。

スキル **シンボルカー**
自分の場にあるこのカードを車庫エリアに置くことで発動できる。山札から「大坂」を設定エリアに持つ車両カード(特急)1枚を手札に加え、その後山札をシャッフルする。

新装かつ新斬

013/022

No.013

アーバンライナー・プラス

アシストカードのように手札からスキルを発動できる。場をコントロールしたいならば欠かせない1枚。

ビスタ EX 奈 二



車両カード【特急】1976～

車両紹介 1976年に登場した「ビスタ・カー・サリ」を1996年にリニューアルし、「ビスタ EX」とした。近鉄特急のシンボルである2階建て電車で、車両中央に出入り台あり、階上・階下への階段が続いている。

スキル **ハイデッカー**
このカードを手札から場に出したときに発動できる。相手は自分の場にある車両カード1枚を選び、山札の一番下に戻す。

階上から階下へ、それ反过来

014/022

No.014

ビスタ EX

相手に厳しい選択を迫るスキルが特徴。「ハムレット」の一節のようなテキストにも注目。

6020系 大 奈



車両カード【一般】1968～

車両紹介 南大阪線・吉野線を中心に活躍する一般車両。6000系の扇風機を縦流しファンに変更し、3両編成と4両編成がある。1979年に冷房装置を取り付けている。

スキル **急行あべの橋行き**
自分の場にある車両カードが1枚以下のとき、このカードは進行度2で場に出すことができる。

難波・白旗・吉野、とんな城壁にも遊び込む。

018/022

No.018

6020系

南大阪線の主力である一般車両。満開の桜がよく似合う。

1201系 三 全



車両カード【一般】1982～

車両紹介 非磁気チョップ制御装置を採用し、名志願・山田・奥羽・志摩線が活躍する一般車両。当初1200系の形式であったがワンマン運転化により1201系となった。

スキル **急行松阪行き**
自分の場にある車両カードが1枚以下のとき、このカードは進行度2で場に出すことができる。

次は伊勢中川、中川で中。大坂・奈良・京都へ乗り継ぎ乗り換えで。

019/022

No.019

1201系

三重県で活躍する一般車両。トリッキーな車両カードが多い三重エリアをどう活かすかが勝負の鍵を握る

はかるくん



アストカード 2007～

車両紹介 国産初の電気機関車から生まれた。最高速度100km/hの性能を誇り、各駅に停車する。車体は白と青の配色で、丸みを帯びたデザインが特徴。通称「はかるくん」。

スキル
自分の場にあるこのカードを1枚以下のとき、このカードは進行度2で場に出すことができる。

はかるくんは、はかるくん。はかるくんは、はかるくん。はかるくんは、はかるくん。はかるくんは、はかるくん。

020/022

No.020

はかるくん

何枚あっても困らない汎用カード。効果①は、進行度4のカードには使えないので注意。

新あおぞらII 全



車両カード【団体専用】1994～

車両紹介 18200系「あおぞらII」の代替車として登場。12000系を基色変更し新たに15200系「新あおぞらII」とした。団体専用として、修学旅行などの別切列車で運用。

スキル **旅の準備**
1ターンの1度発動できる。このカードの進行度を1戻し、山札からカードを1枚引く。

新しい旅はいつも再出発

015/022

No.015

新あおぞらII

スキルはデメリットがあるものの、何度も使える点が強心強い。各地で活躍する団体専用車らしく、設定エリアが優秀。

つどい 三 奈



車両カード【観光】2013～

車両紹介 一般車両の2000系を改造してつくられた。現在の外観は2018年にリニューアルされたもの。「パークウェイ」や「オープンスペース」が備えられており、様々なイベントで活躍している。

スキル **風のあそびば**
自分の場にあるこのカードを車庫エリアに置くことで発動できる。山札からアストカードを1枚選び、手札に加入する。その後山札をシャッフルする。

あそびば、いちごをお土産

016/022

No.016

つどい

好きなアシストカードを山札から回収できるスキルが強力。自身が車庫エリアに置かれてしまうのは少し辛い。

8600系 奈 京



車両カード【一般】1973～

車両紹介 奈良線の最初の冷房通勤車両として、8600系をベースに冷房装置を搭載する形で登場。正面行先表示器、車体扉開閉装置を当初より採用している。

スキル **急行奈良行き**
自分の場にある車両カードが1枚以下のとき、このカードは進行度2で場に出すことができる。

まっ直ぐ走る

017/022

No.017

8600系

一般車として初登場した車両カード。やや控えめなスキルを持つ。山札の一定枚数を一般車にするといった遊び方も楽しいかも。

貸切



アストカード

スキル
自分の場にあるこのカードを1枚以下のとき、このカードは進行度2で場に出すことができる。

貸切専用、無差別化が得意

021/022

No.021

貸切

好きな「団体専用」「観光」車両カードを手札に持ってくるができる。コンボの起点として使おう。

連結



アストカード

スキル
自分の場にあるこのカードを1枚以下のとき、このカードは進行度2で場に出すことができる。

1～3枚を連結して遊ぶ

022/022

No.022

連結

「一般」車両カードユーザには欠かせない一枚。第1弾の「出庫」と組み合わせると一気に進行度を進めることができる。



きんてつ
トレインズ!

第3弾 収録カード一覧



No. 023
しまかぜ 10th anniv.

2013年にデビューしてから10周年を迎えた記念仕様。「10周年記念ロゴ」もプリントされている。効果的に手札の枚数を増やせるため、戦略の多様性が生まれる。



No. 024
ひのとり 3rd anniv.

2020年のデビューから3周年を迎えた「ひのとり」も、記念仕様で再登場。自分の戦術にも制限を加えてしまうので、場に出すタイミングや山札の構成に工夫が必要。



No. 028
伊勢志摩おさかな図鑑

車両形式は2410系。一般のお客様ではなく、鮮魚を運ぶ車両で、決まった時間に運行される。場に出すタイミングは要注意。



No. 029
シリーズ 21

「新スナックカー」や「さくらライナー」など、コインツスを使った戦術を封じるカード。自分にもスキルが発動されるので、自分の山札の構成にも要注意。



No. 030
5200系

近鉄の一般車としては特徴的な、片側3扉・転換クロスシートの車両。スキルも特徴的で、危め的な局面では特に有効だろう。



No. 025
22000系 ACE

相手の戦略を妨害できるカード。直接車庫エリアに置くことでスキルが発動されるため、自分の場の状態に左右されずに使うことができる。



No. 026
12400系「サニーカー」

長年にわたり、近鉄特急のサービスに貢献し続けるベテラン車両。スキルは戦局を大きく変えるパワーはないものの、安定したゲーム進行を可能とする。



No. 027
3200系

好きな車両カード（一般）を山札から回収できるスキルが強力。自身が車庫エリアに置かれてしまうのは少し辛い。



No. 031
モト90形「マンモス」

相手が「あえて」空けていた場へ移動させることで、相手の戦術を妨害する。まさに「縁の下の力持ち」のような存在。



No. 032
マルチフルタイタンパー

手札のバランスを整えるときに有効なアシストカード。車庫エリアにカードが溜まり、手詰まりになったときのために取っておきたい手段。



No. 033
終点

窮地を切り抜けるために山札に入れておきたいカード。山札に十分な数がないと効果は薄いので要注意。



No. 034
入庫

こちらを手札のバランスを整えたい時にほしいカード。手札1枚を山札の一番下に戻す必要がある反面、「マルチ」よりも即効性が期待できる。

第4弾 収録カード一覧



No. 035
デボ 1 形
 近鉄の前身である、大阪電気軌道で活躍した車両。その名の通り、このカードがバイオニアとなるべくスキルが発動される。出しどころが難しいが、相手のペースを止めるために長く場に出しておきたい。



No. 036
15400 系 かぎろひ
 「旅行がもっと好きになる電車」がコンセプトの、クラブツーリズム専用の車両。ゲームの窮地を救うべく使いたいが、1ゲーム中に1度しか使えないためタイミングの見極めが重要。



No. 040
7000 系 / 7020 系
 けいはん線・大阪メトロ中央線で活躍する車両。「ずずらん・白樺」と同様、相手のアシストカードを封じるために場に残しておきたい1枚。



No. 041
2610 系
 長年活躍する 2610 系。車内の設備を何回も変えながら、ずっと近鉄を支えている。「かぎろひ」よりも少し使いにくい、自分のペースに持ち込むにはうってつけ。



No. 042
楽 (初期デザイン)
 手札から直接車庫に置くことで発動できるスキルは、相手の手札や山札の構成にも大きく影響される。うまくつかって、2610系などとの相乗効果を測りたいところ。



No. 037
ブル
 生駒ケーブルで活躍する犬。友達と一緒に活躍中。強力なアシストカード「生駒鋼索線」を発動させるべく、山札に複数加えておきたい1枚。



No. 038
ずずらん・白樺
 現役最年長のベテランコンビ。相手のペースになる前に場に出しておきたいが、進行度が進んできたら早めにゴールして序盤から優位に進めたい。



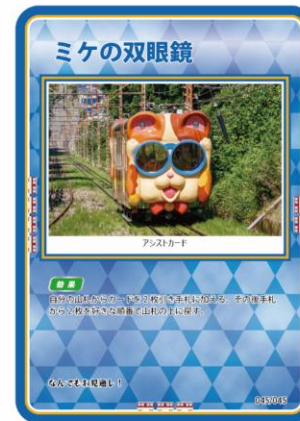
No. 039
スイート
 生駒ケーブル山上線で活躍する車両。両車、車庫の「ドレミ」とともに、とてもファンシーなデザインをしている。相手の作戦が読めてきたときにあればラッキーな1枚。



No. 043
楽
 相手に引き離されそうなとき、このカードが場があれば食いがたがる。椅子の形が表す通り、一気に進行度を5の態勢を作れる守りのカード。



No. 044
生駒鋼索線
 条件は厳しいが、発動できれば一気に戦局を変えられる。このカードを有効に使うべく、車両カード(ケーブル)の枚数を揃えたい。



No. 045
ミケの双眼鏡
 自分の手札の内容を調整して、2手先まで見据えた戦略を立てるためのカード。多くドローできるカードと組み合わせ、先手打った展開をつくりたい。